

様式第 3

会 議 録

会議名	令和 7 年度第 1 回 野田市特別職報酬等審議会
議題及び議題 毎の公開又は 非公開の別	1 議員報酬及び特別職の職員の給料について（公開）
日 時	令和 7 年 1 1 月 1 3 日（木） 午前 1 0 時から午前 1 1 時 1 0 分まで
場 所	市役所低層棟 4 階 委員会室
出席者	会 長 原 崇人 副会長 斉藤 弘美 委 員 中谷 笑鈴 大塚 裕生 山本 和也 澤田 修 宇田川 仁 鷺尾 真由美 古川 愛美 事務局 大久保 貞則 （総務部長） 小嶋 亮 （総務部次長兼人事課長） 山形 好人 （人事課長補佐） 木下 友晴 （人事課主任主査） 荒木 智子 （議会事務局主査） 筒井 啓介 （人事課主査）
欠席委員	—
傍聴者	1 名
事務局	1 開会 会議の公開について、審議事項に非公開とするべき事項がないため公開で行うこととし、市ホームページにおいて市民へ周知していることを報告する。1 名から傍聴の申し込みがあり、傍聴を許可することを説明。 委員 9 名中、9 名の委員が出席しているため、野田市特別職報酬等審議会条例（以下「報酬等審議会条例」という。）第 7 条第 2 項の規定により、会議が成立していることを報告する。

総務部長	2 総務部長挨拶 ＜挨拶＞
事務局	3 議題 (1) 議員報酬及び特別職の職員の給料について
事務局	＜議員報酬及び特別職の職員の給料について、資料を基に説明＞
原会長	質問、意見等を求める。
原会長	全体的に賃金を上げていこうという機運の中で据え置きということを選ぶにあたり、比較は大事であるが、どの自治体も横を見ているとなかなか上げてこない。この点について考えを伺いたい。
事務局	ご指摘の点については、その通りである。ただ、一般職とは違った特異な職責であり、様々な比較があるが、判断基準が難しい中で一つの指標として類似団体があり、住民に対し一番説明しやすいと考えている。今回据え置きという当局案を出せていただいているが、今後については、当然引き上げるだけでなく、逆に引き下げるということもあり、審議会の中で意見を伺っていきたいと考えている。
山本委員	野田市の財政状況は健全であるとのことであるが、近隣東葛地域に関してはどうか。
事務局	資料については、手元にないが、同様に健全であると考えている。どの団体も社会保障費が増加傾向にあり、経常収支が9割以上、野田市と近隣市で大きな差はないと考えている。
原会長	野田市では、副市長及び教育長の給料額が高いがこれに何か理由があるのか。

事務局	特別職の給料については、これまでも審議会で議論されてきたところであり、地域手当を含んでいるか否かが非常に大きいところである。東葛9市で地域手当を含んでいないのが、我孫子、鎌ヶ谷市、野田市となっており、地域手当を出すか否かという議論は本来また別のものになるが、地域手当を含まない比較であるのご指摘のとおり高い金額となっている。以前の審議会で野田市の特別職の地域手当を廃止することとなった際、地域手当を含んだ金額で近隣市と比較する結論に至り、地域手当を含むと東葛9市のなかで7番目であり、現状の金額について検討を重ね、現在の給料となったところである。
原会長	水道管理者について置いている市と置いていない市があるがこの点について伺いたい。
事務局	これについては自治体の判断となる。市によっては上下水道の管理者としているところもある。野田市は現在水道管理者を置いているが、今後上下水道を一緒にするであるとか、水道管理者を廃止するという議論が将来的に行われる可能性もあるが、現時点においては、このやり方が適正と判断して管理者を置いている。
原会長	自治体によっては、水道管理者の類似の役職も存在するのか。
事務局	市によっては様々な特別職が存在している。今回は野田市と同じ水道管理者を置いているところを比較している。
原会長	議員から何か意見が出ることはあるのか。
事務局	特に意見をいただいたことはない。
原会長	市民の方から意見をいただいたことはあるのか。
事務局	市民の方から直接報酬について高いもしくは安いという意見をいただい

	たことはない。
原会長	今回初参加となった古川委員何か率直なご意見はないか。
古川委員	少し脱線した話となってしまいが、一般市民という目線でみた際にこのような審議会が開催されていること自体知らない方が多い。また、これまでこのような出来事があり、給料がこうなりましたという事後報告のような形となっている。野田市が何にお金を使っているのか、例えば今事業が進んでいないかもしれないが、鉄道誘致をするために、こういった政策を行っている。それに対してこうお金が使われる予定だが、これくらい不足している。それに対して市長等の給料がこうなっていると。出来れば報酬の審議だけではなく、今後野田市がどのような分野に力を入れてお金を使っていくのかについて話をできる審議会を作っていただきたいと考える。
事務局	本審議会については、報酬の審議会であり、報酬について議論する場所である。市では最上位の計画として野田市総合計画というのがあり、その下に子ども、福祉等様々な計画がぶら下がっている。古川委員の言う未来に向けた市の戦略やビジョンについては、5年ごとに行われる総合計画審議会で審議される。市として様々な審議会を開催しているが、現状の周知、方法では市民の方に伝わっていないと感じることもあり、今後工夫しなければならない。
鷺尾委員	古川委員の話についてであるが、市民から見て市がどこに力を入れ、将来投資をして、こういう市にするというプランがあり、特別職報酬等審議会では、それに合わせ、特別職の給料を上げる。また議員が市の目指す方向に協力してもらうための手当として上積み、将来目指すものや行っていくことへ投資をしていくという話だと理解している。
事務局	出来高制や年俸制といった、今までの実績や未来の話をもとに、報酬を決める方法もあると思う。全国の自治体で様々なやり方をしており、その点を研究し、今後この審議会では報告や相談をさせていただければと考え

原会長	る。 野田市として発展させてほしい点に報酬をあげるという話であるが、野田市自身が他市との状況比較だけで現状維持という考えだと埋没していく可能性もあり、面白味にも欠ける。バランスも大事であるがやはり野田市独自のものがあればと考える。
中谷委員	労働者団体を代表するものとして、意見というか感想を言わせていただきたい。一般企業では春闘があり、賃上げに向け、いかに会社を納得させるかを様々な角度から知恵を絞る。先ほどの、未来を見据えてそれに対する報酬を考えようという意見は素敵だと思った。ところで他団体との比較であるが、人口以外に産業の類似している団体との比較を行ったことがあるか。
事務局	報酬に関して、産業の類似団体との比較をしたことはない。一般職に関しては人事院のほうで様々な角度からみて給料を決定しているかと思うが、特別職に関してはそういったものはない。
原会長	今日の議題については様々なご意見を頂戴したということで、また今後毎も見直しを行い、据え置きなのか、増額もしくは減額なのか意見を頂戴しながら進めていきたい。ほかに意見等あるか。 (なし) 審議会終了